

令和2年度 ウンカ情報 第1号

令和2年6月29日
島根県病害虫防除所

…6月下旬の巡回調査でセジロウンカとコブノメイガを確認しました…

☆セジロウンカ



6月下旬の巡回調査(50株払落し調査)において、セジロウンカ成虫を確認しました。今年度県内のほ場で初めての発生となります。発生ほ場率 80.3% (平年 31.8%)、寄生虫数 8.2 頭(平年 3.5 頭)/50 株と、県内全域に飛来が見られ、寄生虫数は平年に比べやや多くなりました。

県内初飛来は予察灯(出雲市)、粘着誘殺灯(出雲市)と空中ネットトラップ(出雲市)において6月 13～15 日に確認され、飛来時期は平年に比べ早く、誘殺数も平年に比べ多くなりました。また、6月 25～26 日にも誘殺され、複数回の飛来を確認しています。

～セジロウンカ発生予測パターン～

気温(6月25日までは今年の気温、それ以降は過去30年間の平年値)を用いた有効積算温度計算シミュレーションから発生予測パターンを作成しました(JPP-NET 病害虫発生予測データベース)。発生消長把握の参考としてください。

	6月18日	6月27日	7月12日	7月17日	7月23日	
6/13飛来	成虫	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫
	6月30日	7月8日	7月21日	7月26日		
6/25飛来	成虫	卵	幼虫	成虫	卵	

注)6/26以降の気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。



☆コブノメイガ

セジロウンカと同様に、6月下旬の巡回調査において、コブノメイガ成虫を確認しました。平年に比べ、飛来は早くなっています。セジロウンカと同じ時期に飛来したと考えられます。



☆トビロウンカ

予察灯及び巡回調査では発生を確認していません。しかし、例年セジロウンカと同時期に飛来することから、今後の発生状況に注意してください。